

平成22年度
福岡市公共事業再評価等監視委員会
《 議 事 要 旨 》

事後評価対象事業

番号①：都市再生整備計画事業「福岡市西部地域地区」・・・P 1

番号②：都市再生整備計画事業「アイランドシティ地区」・・・P 3

平成22年度事後評価対象事業

番号①：都市再生整備計画事業「福岡市西部地域地区」

(委員)

○九大学研都市駅前はまだ少し風情のあるまちなみにならなかったのか。大型店舗の立地等で便利になったが、質的にはどうかとを感じる。

(住宅都市局)

●学研都市駅前の景観については、色んな方からご意見を頂いている。特に建物の色彩については、十分な指導ができなかったという反省点がある。

今後、学研都市駅から九州大学に繋がる学園通線沿線の景観誘導について、この反省を活かして地元と話を進めていく。

(委員)

○まちの魅力についての目標が50%というの低いのではないかと。

(住宅都市局)

●まちの魅力については、元々、自然豊かなところであり「自然のままが良い」という評価の部分を想定し、当初目標を50%と設定していた。

(委員)

○まちの魅力についての指標で、住環境に関する値が低いのではないかと。地域をどの様なまちにするイメージなのか。

(住宅都市局)

●九州大学移転完了の10年後を一つの目標として、地元産学官民で策定した「九州大学学術研究都市構想」がイメージとして共有されている。

この計画には、住環境等の身の回りの環境について、おおまかな記載しかないのが実情である。九大移転事業とのマッチングを図りながら、地域特性とのバランスを踏まえ、必要な施設を分散配置していく必要がある。

(委員)

○アンケートの年齢構成では20代が少ない。もっと学生が地域にとけ込むことを考える必要がある。

(住宅都市局)

●西区では大学と地域との連携を促進する取組みを行っている。一つは伊都祭という地域と一体となった催しを年1回開催している。地域から大学との交流を望む声が多いことから、交流が進むよう今後も取組んでいく。

(委員)

○アンケート調査は、誰を対象に実施するかで全く違う結果も出るの、次回の計画策定時に、指標として使用する際は、よく検討する必要がある。

(住宅都市局)

●次期計画策定時には、アンケート調査対象・項目など、十分検討した上で設定する。

【結 論】

<事後評価について>

事後評価は、適切になされたと判断する。

<今後のまちづくり方策について>

まちづくり方策に基づき、適切に推進すること。

平成22年度事後評価対象事業

番号②：都市再生整備計画事業 「アイランドシティ地区」

(委員)

○指標1, 3, 4が福岡市全体の数値となっているが、この整備計画は、アイランドシティ地区を対象としたものであり、全市の指標に影響を及ぼすとは考えにくい。

(港湾局)

●埋立地のため、当初の値がなかったことから、市全体の値を使ったが、それでは事業の効果が分かりにくいので、アイランドシティ地区を対象とした同様の指標で補足している。

(委員)

○指標1, 3, 4の評価値は、平成22年度の数値であるのに、その他指標1, 3, 4の比較値は、平成21年度の数値を使っており、わかりにくいと思う。

(港湾局)

●指標1, 3, 4の評価値は、近似式を用いた推計値である。その他指標1, 3, 4においては、比較するための数値であることから、実数がよいと判断し、平成21年度の実数値を使っている。

(委員)

○その他指標3「アイランドシティ居住者のコミュニティ活動の活発度評価」に関しては、福岡市全体の値は、過去1～2年間の値であるのに対し、アイランドシティにおける値は過去1年間の値であるので、同じ条件で比較していない。

(委員)

○2年間の福岡市の値より、1年間のアイランドシティ地区の値が高くなっているのだから、総評で丁寧に書いたがよい。

(委員)

○その他指標5の犯罪率については、道交法違反なども含めた犯罪率なのか。

(港湾局)

●窃盗などの刑法犯の認知件数を使用している。
ちなみに東区の中では照葉校区が最も犯罪率は低くなっている。

(委員)

○今回の評価が終わった後のフォローアップについてはどのように考えているのか。

(港湾局)

●今後も、社会資本整備総合交付金事業を活用していく予定であり、新たな目標設定や、事後評価を行う中で検討していきたい。

(委員)

○17ページのアンケート調査の概要については、全戸アンケートということであれば、それは記載した方がよい。また、アンケートの回収率も追記すべきである。

(港湾局)

●了解。

【結 論】

<事後評価について>

事後評価は、適切になされたと判断する。

<今後のまちづくり方策について>

まちづくり方策に基づき、適切に推進すること。